

よこすか E C O 通信



第36号(令和2年3月)

発行: 横須賀市・環境教育・環境学習ネットワーク会議

ペットボトルなどのプラスチックごみについて考えてみよう！

環境省など9つの省庁による『プラスチック資源循環戦略』※1では、リデュース（ごみを減らす）、リユース（繰り返し使う）、リサイクル（資源として再利用する）の3R運動の浸透により、プラスチックごみの削減、有効利用、抑制などが図られてきたとの発表が令和元年5月にありました。



一方で、一人当たりの使い捨て容器包装の廃棄量は、アメリカに次いで世界で二番目に多く、また、利用されずに捨てられるプラスチックが一定程度あることなどから、私たちの生活の中で、ペットボトルやレジ袋などのプラスチック類の利用などについて、改めて考えていく必要があります。

また、私たちが3Rへの取組や適正なごみの分別を進めることにより、問題となっている海洋プラスチックごみの防止や生き物の環境を守ることに繋がります。



「循環型社会の形成に向けて」 ～新しいごみ処理施設【エコミル】が稼働！～

横須賀市では、古くなった南処理工場に代わって、新たなごみ処理施設「エコミル」（横須賀市長坂）が令和2年3月に本格的に稼働を始めました。

これまでのごみの分別では「不燃ごみ」としていたゴム製のもの（靴、スリッパ、ゴム手袋など）や「容器包装プラスチック」以外のプラスチック製のもの（おもちゃ、バケツ、CDなど）を「燃せるごみ」として「エコミル」で焼却します。

「エコミル」では、ごみを燃やす際の熱を利用して発電を行い、施設内の電力の一部として利用するとともに、余った電力を電力会社に売却することにより、地球温暖化の原因と言われる温室効果ガスの排出量削減にも役立つことになります。

分別の詳細は市役所4階資源循環推進課、行政センター、役所屋でお配りしている冊子、またはホームページをご覧ください。

※1 「『プラスチック資源循環戦略』の策定について」(令和元年5月31日 環境省) <https://www.env.go.jp/press/106886.html>
『プラスチック資源循環戦略』 <https://www.env.go.jp/press/files/jp/111747.pdf>

2面は「春の環境学習講座などのおしらせ」「横須賀いいね★エコ活動賞」受賞団体の活動内容、3面は「横須賀かんきょうフォーラム2020」ほかのご紹介、4面は「季節の自然図鑑」を掲載しています。

☆ HPは横須賀市HPから「ECO通信」で検索。（カラー版でご覧いただけます！）

<http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4110/k-gakusyu/ecotushin/ecotushin.html>

春の環境学習講座などのお知らせ

企画展示

「ヨコスケンセ 横須賀の歴史を彩る植物たち」

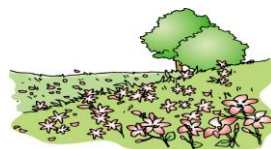
3月14日（土）～5月31日（日）9時～17時

横須賀市自然・人文博物館特別展示室

横須賀は、日本近代史のみならず、植物研究史においても重要な地域のひとつです。

ペリーや横須賀製鉄所医師サヴァチェ、「日本植物学の父」牧野富太郎など、多くの人物が横須賀において植物を調べました。

展示では、江戸から昭和初期にかけての植物研究史が横須賀に当てた光を、様々な文献や色とりどりの植物写真とともに紹介します。



開催期間 3月14日（土）～5月31日（日）

開催時間 9時～17時

場 所 横須賀市自然・人文博物館特別展示室
横須賀市深田台95

・横須賀中央駅から徒歩10分

・京急バス「文化会館前」から徒歩5分

入 場 料 入場自由（無料）

休 館 日 月曜日（祝日、振替休日の場合は翌日）

特別協力 神奈川県立生命の星・地球博物館
神奈川県植物誌調査会

問 合 先 電話046-824-3688（博物館）

詳 細 <https://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp>



※ 博物館は3月4日～3月31日まで閉館です。この後もイベントを延期・中止する場合がありますので、お越しの際はHPをご確認ください。

「横須賀いいね★エコ活動賞」受賞団体の活動内容

「横須賀いいね★エコ活動賞」は、環境意識の向上と環境活動の活性化のため、環境活動団体や学校等における「いいね★」といえる環境活動を表彰する制度です。

令和元年度は、学校等での短期間（1年以内）の活動が対象の『学校短期活動の部』から2校、市民団体や環境活動団体などの活動を対象に、隔年で実施する『一般の部』から1校・1団体が受賞しました。本号では、『学校短期活動の部』の1校の活動内容をご紹介します。次号以降でそのほかの受賞団体の活動内容をご紹介します。次ページでは「横須賀かんきょうフォーラム2020」についてご案内します。



社会福祉法人長岡児童福祉園 長岡こども園 年長ゆきぐみ

★のびかいがんクリーンホワイト賞★

【活動概要】

地域の清掃として、馴染みがある野比海岸の清掃を行いながら、拾ったごみの分別を行い、ごみがどのように出たものか想像し、話しを行う。



長岡こども園は、昭和27年長岡保育園として開設し、地域の子どもたちの健全な育成を目指し、養護と教育を一体として行ってきました。

21世紀さらなる100年人生の土台作りを考え、恵まれた自然環境のもと、園児ひとりひとりがのびのびと健やかに心豊かな人間性を培うことを願っています。

生きる力を育む土台として、「よき習慣」について常に考えていました。

園から見える野比海岸は子どもたちにとって最も身近な自然です。

和太鼓の演奏やおんべ焼き、日頃から地域の方と関わる機会がある海岸の清掃を幼児期に伝えておきたい環境教育の場として選び計画しました。

ごみの分別、自然の豊かさと怖さ、園外散歩としての交通ルールや地域の方との挨拶による触れ合い、海の絵本や歌、協力してお友だちと大きなものを拾い集めたり、楽しみながらも園の理念である、思いやり、たくましさ、考える、といった要素も含んでいる活動として効果を感じています。

今後はSDGsの目標を意識しながら、より活動を広げて持続していきたいと思っています。

市内の環境活動を紹介する

「横須賀かんきょうフォーラム2020」を開催しました

2月1日(土)にヨコスカ・ベイサイド・ポケットで、「横須賀かんきょうフォーラム2020」を開催しました。「横須賀いいね★エコ活動賞」や「環境ポスターコンクール」の表彰式、環境活動のステージ発表、国立環境研究所生物生態系環境研究センター生態リスク評価・対策研究室室長の五箇公一さんによる講演『終わりのなき侵略者との闘い～なぜ外来生物は増え続けるのか?』の他、市内の学校や団体、神奈川県の実環境に関する取り組みのパネル展示や環境ポスターコンクールの入選作品の展示を行いました。

1 表彰式

➢「横須賀いいね★エコ活動賞」

【学校短期活動の部】2校

- 1 社会福祉法人長岡児童福祉園
長岡こども園年長ゆきぐみ
- 2 横須賀市立逸見小学校4年生

【一般の部】1校1団体

- 1 神奈川県立横須賀高等学校科学部
- 2 よこすかたんぼ研究会



表彰式の様子

➢「環境ポスターコンクール」 (入選者21人)

- ・横須賀市長賞 1作品
- ・協賛企業・団体賞 20作品



フロア展示の様子

2 発表！私たちのエコ活動

- よこすかたんぼ研究会
- 神奈川県立横須賀高等学校科学部
- 横須賀市地球温暖化対策地域協議会

3 講演

「終わりのなき侵略者との闘い
～なぜ外来生物は増え続けるのか?」

国立環境研究所の五箇公一さんが生物多様性や自身の研究内容について講演を行いました。テンポよくお話を進め、会場はときおり笑いも起きるなど、和やかな雰囲気で行いました。



4 フロア展示

市内の学校や団体、神奈川県などの活動紹介のパネルが、工夫を凝らして展示され、みなさん熱心に見学していました。

また、スカリンボードには、「絶滅危惧種をなくしたい」「横須賀の自然を大切に」「ゴミをふやさない」「部屋の電灯をLEDにします」など、たくさんの環境に関するメッセージが寄せられました。

環境教育指導者等に登録していただいた企業の環境活動をご紹介します

OKamura

株式会社 オカムラ <http://www.okamura.co.jp/>

地域の皆さんとのつながり

1945年に「協同の工業・岡村製作所」として横浜市磯子区岡村町に設立された、株式会社オカムラは、「豊かな発想と確かな品質で、人が集う環境づくりを通して社会に貢献する。」をミッションとし、環境活動にもグループ全体で取り組んでいます。横須賀市追浜にある生産拠点では、主にオフィス用チェアを製造しています。

ACORN (エイコーン) 活動

ー 自然共生と生物多様性に向けたアクションー

従業員が講師となり、小学校へ環境出前授業を実施しています。学校の「机やイスの3R」をテーマに「ものを大切に使う心」を養う授業や、「日本の森林について考えよう」というテーマで生物多様性保全と、森林資源の持続可能な利用に工夫が必要なことに気づき、自分たちのできることを考えます。

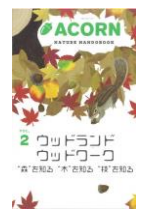
地域の方々に向けた企業見学会では、製造工程や廃棄物施設等を見ていただくことにより環境への取り組みをご説明し、地元の皆様に安心していただけるよう意見交換の場も設けています。

また、プロ野球イースタン・リーグ公式戦と合わせて開催される地域イベントの「追浜デー」に、地元企業として毎年出展。ブースでは人間工学に基づいて作られたオフィスチェアの紹介などを行っています。

工場見学では、実際の現場でモノづくりの流れを見ていただき、さまざまな工夫や技術の伝承を通してモノづくりの楽しさを学んでもらっています。



環境出前授業の様子



冊子：ACORN vol.2



標高139.4 mの鷹取山は、地層観察に適した場所の1つです。鷹取山周辺の岩石は「鷹取石」という石材として、明治から昭和の初期に切り出されていました。そのため、石切り場跡では地層の様子を詳しく観察できます。

鷹取山の展望台からの眺め



【鷹取山の地層の特徴】

鷹取山の地層は粗い火山の噴出物が降り積もって固まった凝灰岩からできていて、スコリアや軽石が含まれています。発泡した火山噴出物のうち、黒色のものをスコリア、白色のものを軽石と呼びます。どこの火山に由来するものなのかはよくわかっていません。これらの凝灰岩が地層のしま模様をつくり、そのしま模様は15° から20° ほど北北東に傾いています。地層には小さな断層が見られ、地層のしま模様のずれを観察できます。



地層をつくる凝灰岩

【地層ができた時代と場所】

鷹取山の地層は池子層と呼ばれます。池子層は約400万～250万年前に水深500～2,000 m の深海でつくられました。鷹取山は池子層の中でも下部、つまり約400万年前の地層からなります。鷹取山を含む三浦半島北西部の池子層下部ができた場所は不明な点が多いですが、海底の谷だったという考えがあります。逗子市池子周辺の池子層からはシロウリガイ類の化石が多く発見されます。また、湘南鷹取の宅地造成中にシロウリガイ類の化石が発見されたという記録もあります。海底の土砂が海水と混じって斜面を流れ下る混濁流（こんだくりゅう）が、一度降り積もった火山の噴出物とシロウリガイ類をより深い海底まで運び、再び堆積させることにより、海底の谷を埋めたのかもされません。



断層 メジャーはスケール、約80cm

【摩崖仏】

鷹取山の地層には、大きな摩崖仏が彫られています。昭和35年ごろに製作されたもので、像高約8 m、像幅約4.5 mあります。現在の鷹取小学校の敷地にも別の磨崖仏があったそうですが、昭和40年に小学校建設のために取り壊されたそうです。



鷹取山の摩崖仏

(横須賀市自然・人文博物館 柴田健一郎)

みなさまからのECOな情報も募集してます。

発行: 横須賀市・環境教育・環境学習ネットワーク会議 協力: 横須賀市自然・人文博物館
(発行元) 〒238-8550 横須賀市小川町11番地 横須賀市環境政策部環境企画課
TEL 046-822-8327 FAX 046-821-1523
E-mail: ep-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp

「環境教育・環境学習ネットワーク会議」とは、市民・事業者・学校・行政等のさまざまな主体が集まり、連携して市内全体の環境教育・環境学習の推進を図るための会議です。

